

令和7年6月16日

開進三中だより

< 第3号 >

—◆たくましい人◆考える人◆心豊かな人◆助け合う人—練馬区立開進第三中学校

学校の宝物～薫る若葉♪～

校長 堀 健一

体育祭を終え、一段落といったところでしょうか。スローガンの「涙流れる青夏祭（勝った時の嬉し涙、負けた時の悔し涙が私たちの青春をアツくさせる）」が達成され、クラスの団結が一層深まったと思います。

表彰式の後の校歌斉唱の場面では、全てのクラスが一つにまとまっていることを感じ、目頭が熱くなりました。

ところで、皆さんは開三中が好きですか。私は今までいくつもの学校に勤めてきました。その度に、その学校が好きになりました。そして各学校の校歌が好きになりました。校歌はその学校独自の宝物です。

開三中の校歌「薫る若葉」が誕生したのは昭和26年です。当時この近辺は狐が出て通行人を驚かすほど寂しい所だったそうです。8月に新しく北校舎が完成し、練馬東中学校と分離することになり、9月1日に開校式が行われました。因みに2年後には南校舎ができました。そうです、昔は校舎が2つ並んでいたのですね（写真参照）。

創立が昭和22年ですから数年間は校歌がなかったことになります。英語の三沢先生の作詞、音楽の小鷹校長の作曲で「薫る若葉」が完成しました。今から74年前のことです。きっと当時の先生たちも学校が好きで、学校のために校歌を作りたいと考えたのだと思います。学校を愛する心を大切にしてほしいという思いが込められています。

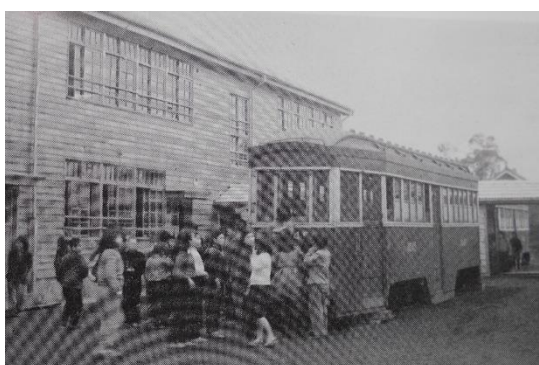
次に皆さんが校歌を歌う時、この話を思い出しながら歌ってほしいと思います。

【学校沿革史より】主な行事を調べてみました。関西へ修学旅行に行くようになったのは昭和27年からです。新幹線がない時代です。3泊4日でした（今は2泊3日）。昭和37年までプールがなかったため豊島園、旭丘小、武蔵大のプールを借りていました。映画鑑賞会が年に数回あり、東長崎駅の平和シネマ、富士見高校講堂に見に行きました。

◎昭和26年度 新入生 223 名

吾野・子の山権現へ校外学習（1年）。映画「勝利の門」富士見高校講堂で鑑賞。
日光へ修学旅行1泊2日（3年）。千葉県勝山へ臨海学校3泊4日。大島へ校外学習1泊2日（2年）。奥多摩御岳山へ校外学習（3年）。三浦半島油壺へ校外学習（1年）。開三小講堂を借用して送別会。国会・地方裁判所見学（3年）。

◎昭和27年度 新入生 272 名 京都奈良へ修学旅行3泊4日（3年）。武蔵大学プールを借用して水泳指導。岩井臨海学校3泊4日。那須高原学校4泊5日。箱根へ校外学習（2年）。国会・証券取引所見学（3年）。動物園校外学習（1年）。博物館校外学習（2年）。平和シネマにて「ひめゆりの塔」「山びこ学校」映画鑑賞。三越劇場にて「人魚姫」鑑賞（1,2年）。



【都電教室】S25年。教室不足のため都へ交渉して都電3台を譲渡してもらい品川から夜中に運び、更衣室・保健室・理科室等にあてました。



【開校式】S26年9月1日。北校舎完成。
現在地に校地が決定されるまでに数十回の協議が重ねられ、5人の地主さんの協力で誕生しました。



【S42年 20周年空撮写真】
北校舎、南校舎、体育館、プールが映っています。



【校歌吹奏】S26年6月5日。新校舎設立を記念して校歌「薫る若葉」が制定されました。

第75回 開進第三中学校 体育祭「涙流れる青夏祭」

令和7年5月24日（土）に75回目の体育祭が行われました。

今年の5月は、梅雨のはしりのようにぐずついた天気が多く、体育祭の運営にあたる教員・実行委員の生徒は苦勞したことと思います。そのような状況でありましたが、前日の準備そして当日と雨に見舞われることなく、また熱中症等を懸念することのない良い状態で行うことができました。



今年度の体育祭スローガン



9時15分の開会式から始まり、個人種目の50m走、全員リレーや各学年種目、そして生徒会種目の大縄跳び、フィナーレの学級選抜リレーまで、午前・午後を通じて様々なドラマがあったことと思います。生徒の皆さんの作文を通して、皆さんが「結果よりも一つの目標に向かって共に過ごした時間や仲間の存在に価値を見いだしたことを強く感じました。そのことを大変うれしく思っています。



行事の成功の裏には、「賞賛されない努力や支援」や「さりげない協力」があるものです。



「賞賛されない努力や支援」や「さりげない協力」といった行為は、目に見える成果となって現れないかもしれません。しかしそれらは、知らず知らずのうちに人間的な成長を促してくれるサプリメントです。

ある担任の先生は、「行事は一つの区切り。一つ一つの区切りの時に自分の今を振り返り、次の区切りが終わるときの自分の姿を思い描けるといいね。」と言います。そして続けます。

「でも、それが難しいんだよな。描こうとしない自分があるんだよな。(笑)」



さて、皆さんは次の「区切り」をどこ

と見ていますか？スモールステップの人、ビッグステップと、人それぞれと思いますが、更なる成長に向けてまた歩み始めましょう。

今回もPTAの皆様や本校おやじの会の皆様が、朝早くからご準備くださり、最後の片付けまでご尽力いただきました。この場を借りて、厚く御礼申し上げます。

また、学校周辺にお住まいの地域の皆様には、長い期間にわたり、スピーカーからの騒音等、ご迷惑をおかけいたしました。ご理解とご協力に厚く御礼申し上げます。

